

2019年12月期 第2四半期決算説明会

GMOINTERNET

STOCK CODE : 9449

グループ代表 熊谷 正寿
取締役副社長 安田 昌史

2019年8月6日

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

結論と要約 | Q2（4-6月）決算サマリー

VCの株式売却があり最高業績となった前年からは増収減益

	(億円)	Q2'18 (4-6月)	Q2'19 (4-6月)	対前年	増減率	
売上高		475	491	+16.0	+3.4%	最高業績
営業利益		65.1	59.5	▲5.5	▲8.6%	
経常利益		64.5	57.6	▲6.3	▲10.0%	
最終利益		21.4	20.1	▲1.3	▲6.2%	

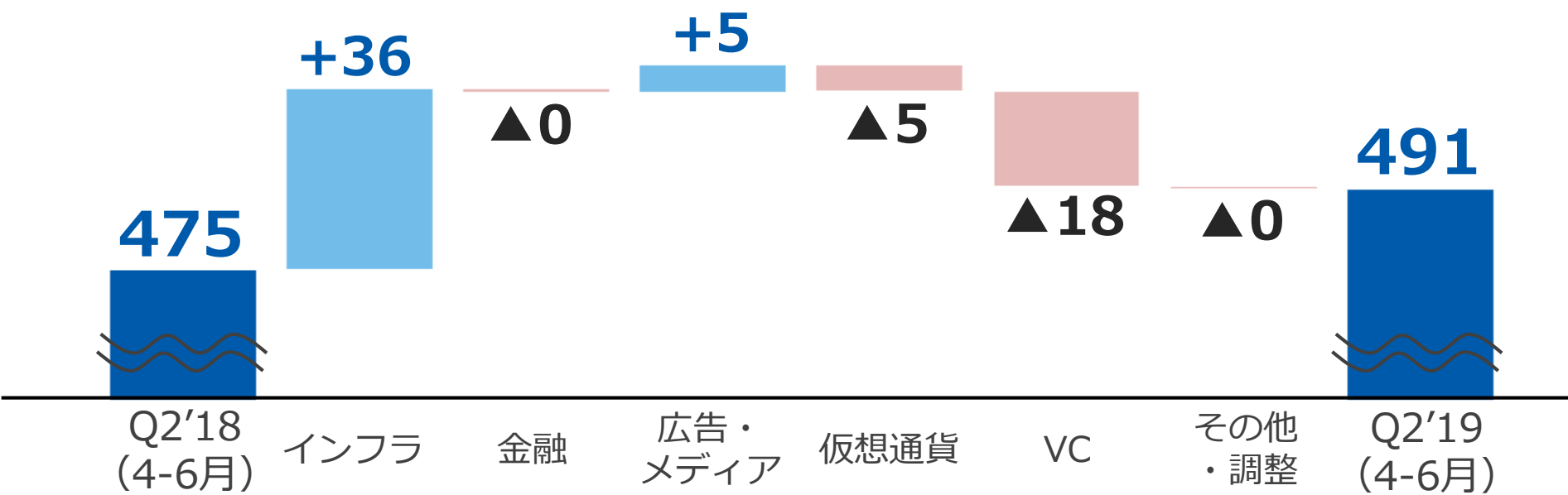
結論と要約 | Q2（4-6月）決算ハイライト

- インフラ：決済・アクセスなど好調継続
- 金融：FX取引高は低調も、収益率が過去最高となり復調
- 仮想通貨交換：仮想通貨市場回復により好調
- 仮想通貨マイニング：2Q黒字化。ただし再構築の遅れによる機会損失が痛恨

結論と要約 | Q2（4-6月）YoY増減分析

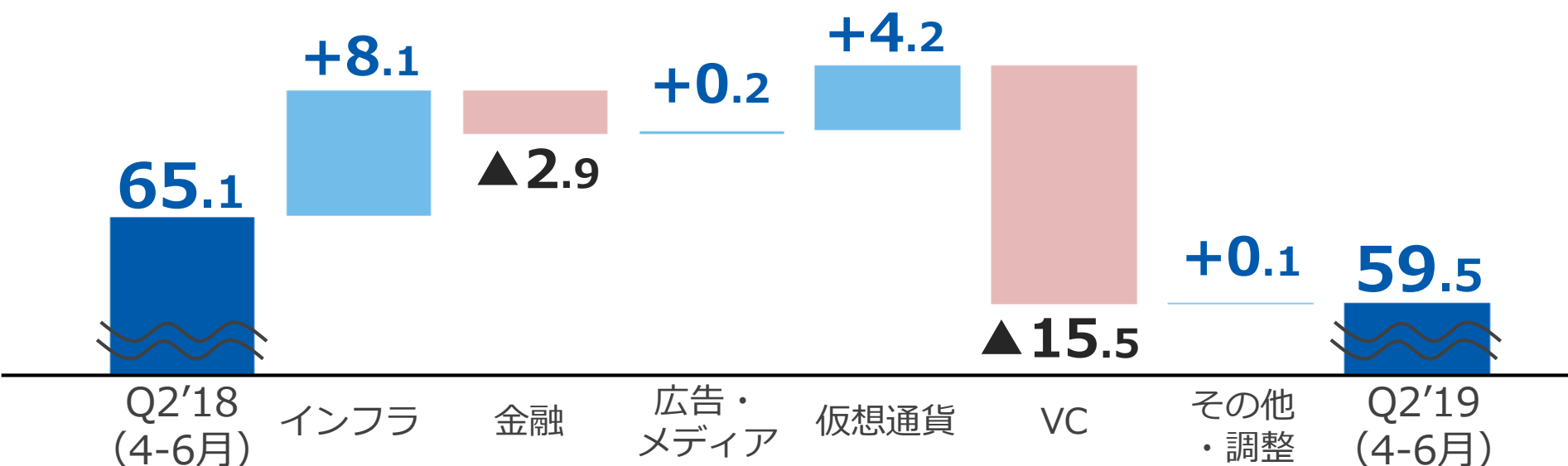
売上

(億円)



営業利益

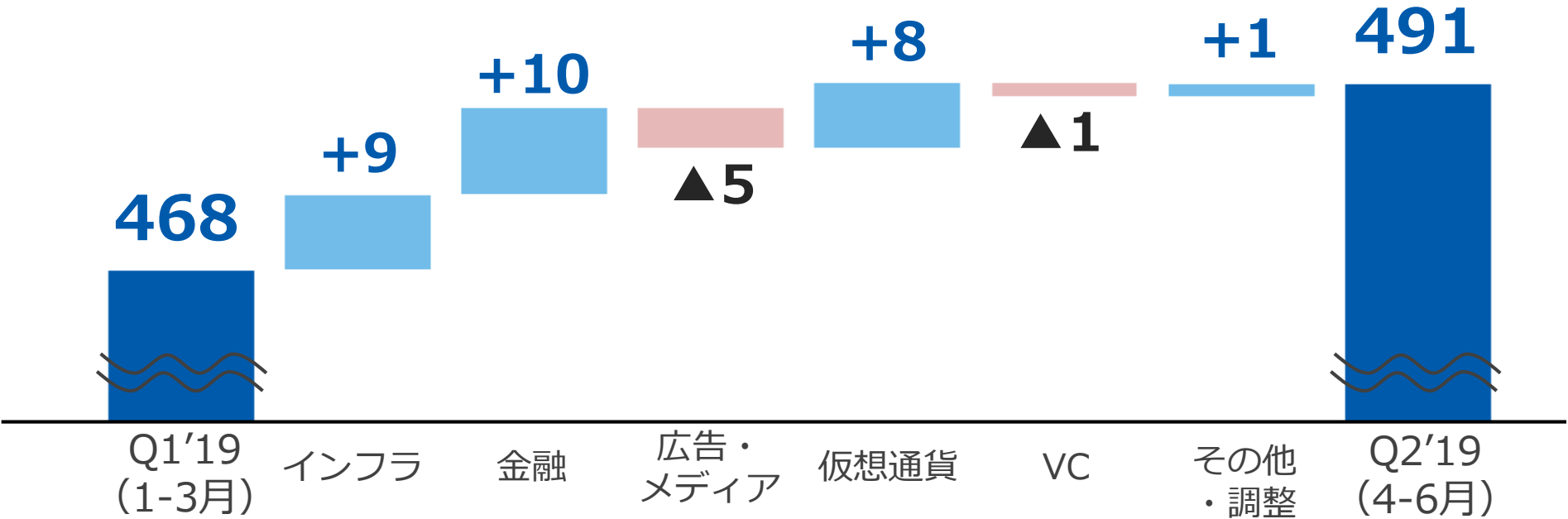
(億円)



結論と要約 | Q2（4-6月）QoQ増減分析

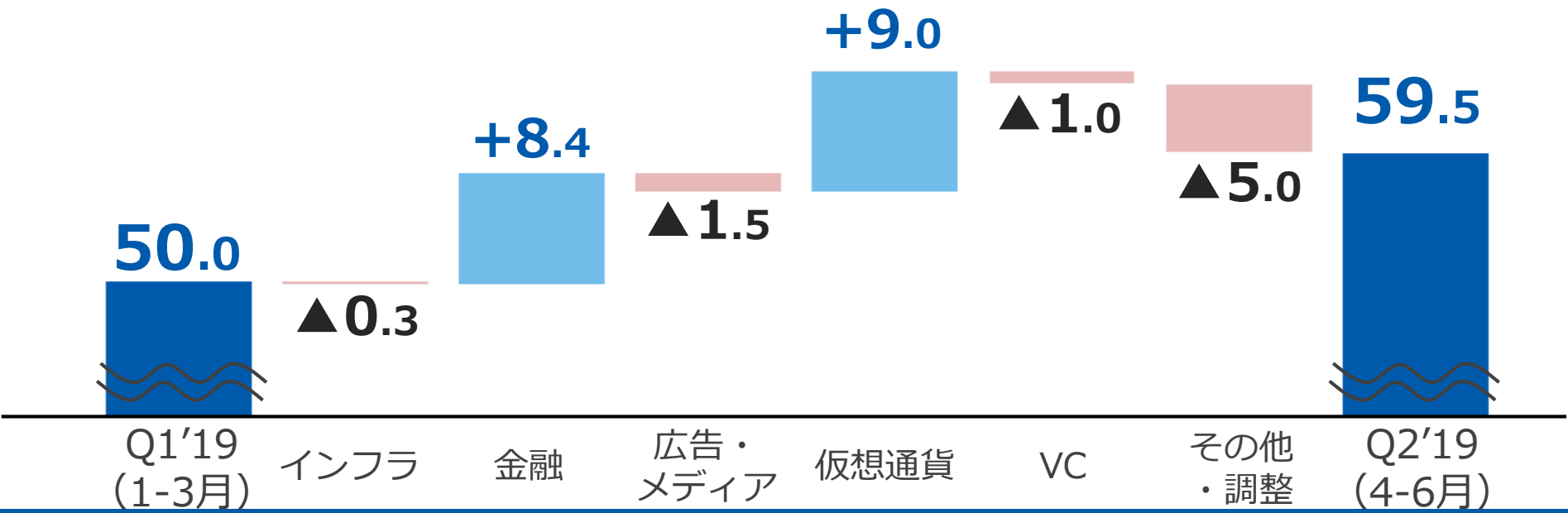
売上

(億円)



営業利益

(億円)



結論と要約 | Q2（4-6月）セグメントの状況

<div>インフラ</div>	<div>売上 284.3億（対前年+14.5%）<div>最高業績</div></div> <div>営業利益 35.8億（同+29.5%）</div> <div>決済・アクセスの伸長加え、マーケティングコストの変動もあり大幅増益</div>	<div>◎</div>
<div>広告・メディア</div>	<div>売上 115.7億（同+5.1%）</div> <div>営業利益 0.9億（同+45.0%）</div> <div>広告代理は復調も、自社アドテク商材・自社メディアの弱含みで苦戦続く</div>	<div>×</div>
<div>金融</div>	<div>売上 74.7億（同▲1.1%）</div> <div>営業利益 23.1億（同▲11.2%）</div> <div>FX取引高は低調も、収益率が過去最高となり復調</div>	<div>○</div>
<div>仮想通貨</div>	<div>売上 21.0億（同▲20.7%）</div> <div>営業利益 6.7億（同+165.6%）<div>最高業績</div></div> <div>マイニング事業は減収もコスト削減効果により黒字化。交換事業は取引活況。</div>	<div>○×</div>

結論と要約 | Q2累計（1-6月）決算サマリー

(億円)	Q2'18 (1-6月)	Q2'19 (1-6月)	対前年	増減率	
売上高	912	960	+47.6	+5.2%	最高業績
営業利益	117.8	109.5	▲8.2	▲7.0%	
経常利益	113.3	106.5	▲6.8	▲6.0%	
最終利益	42.3	40.3	▲1.9	▲4.6%	



結論と要約 | 株主還元（実績）

1株あたり 配当金	(円)	Q1	Q2	Q3	Q4	年間
	FY2018	6.00	6.20	5.50	11.80	29.50
	FY2019	6.00	6.00	-	-	-

自己株式
の取得

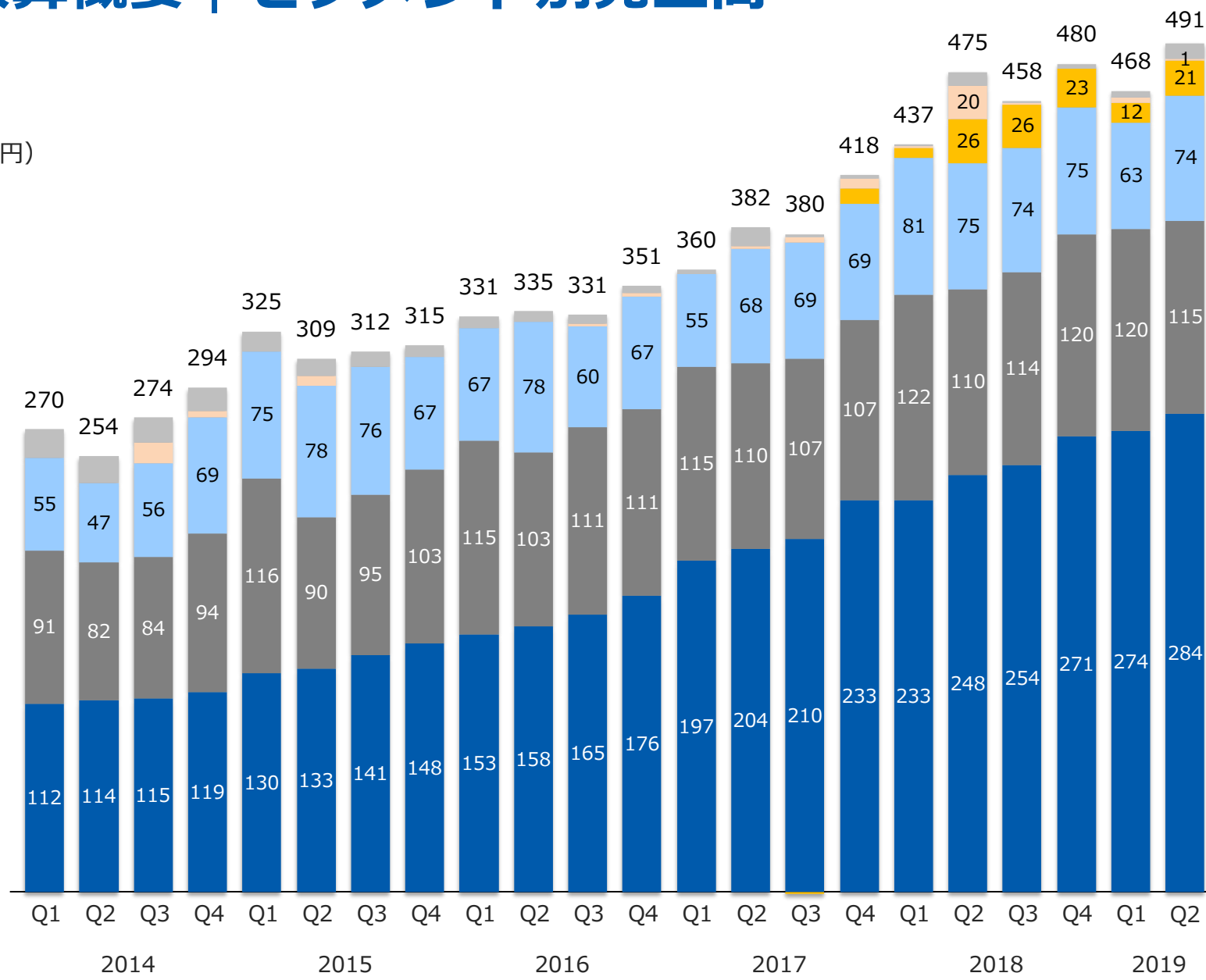
取得価額の総額	31.1億
取得株式総数	185万株

▶ 消却済

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

決算概要 | セグメント別売上高

(億円)

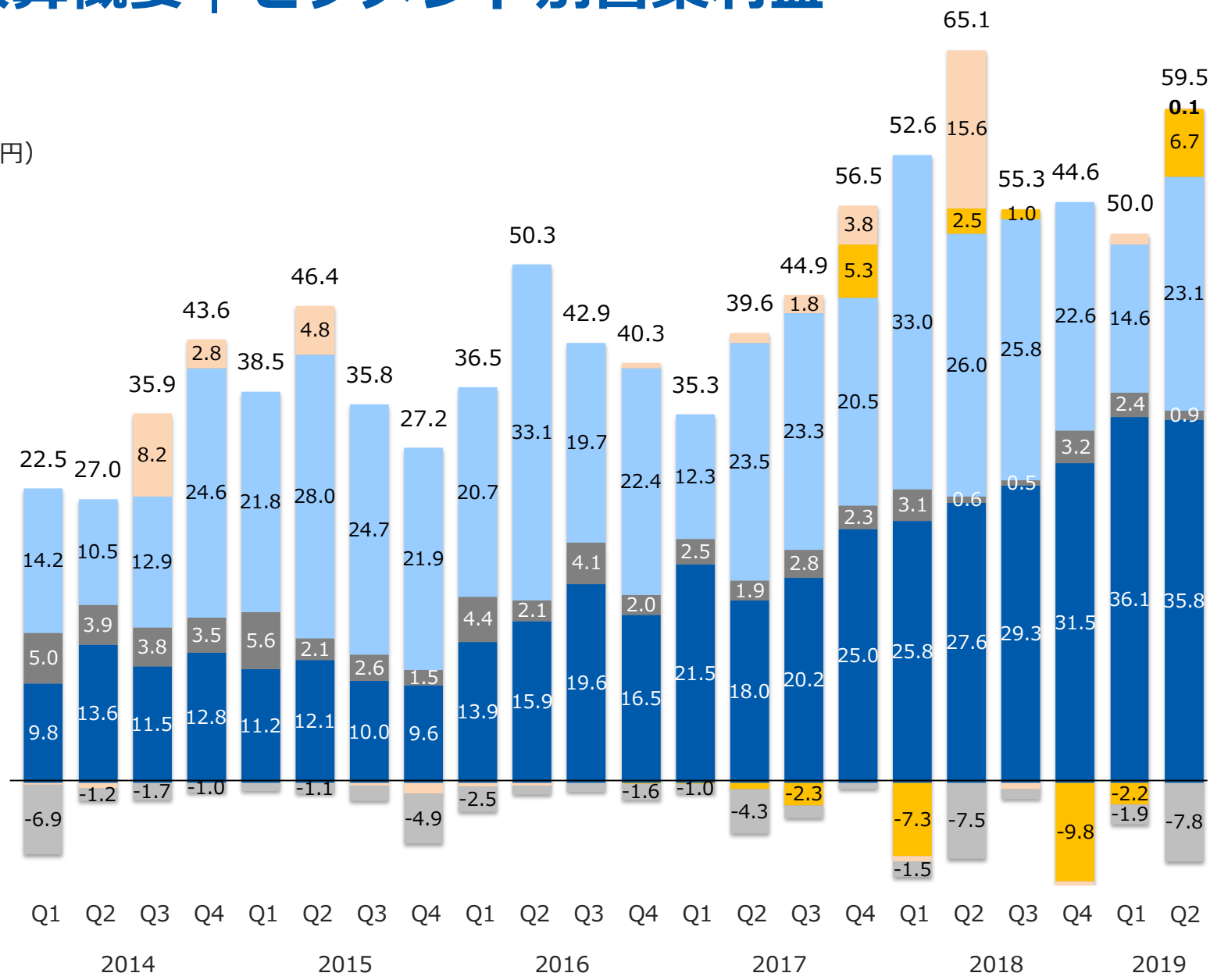


対前年
3.4%増収

- その他
- インキュベーション
- 仮想通貨
- ネット金融
- ネット広告・メディア
- ネットインフラ

決算概要 | セグメント別営業利益

(億円)



対前年
8.6%減益

決算概要 | PLサマリー

(億円)	Q2'18 (18年1-6月)	Q2'19 (19年1-6月)	増減	補足
売上高	912.7	960.3	5.2%	
売上総利益	456.6	459.5	0.6%	
営業利益	117.8	109.5	-7.0%	
(営業利益率)	12.9%	11.4%	-1.5pt	
営業外損益	-4.4	-3.0	-	持分法投資損失 ▲4.3億
経常利益	113.3	106.5	-6.0%	
特別損益	6.7	4.6	-31.2%	仮想通貨マイニング事業再構築損失戻入益 +8.7億
税前利益	120.1	111.1	-7.5%	
法人税等	43.4	37.3	-13.9%	
非支配株主損益	34.3	33.4	-2.7%	
親会社株主に帰属 する純利益	42.3	40.3	-4.6%	

決算概要 | BSサマリー

(億円)	2018年 12月末	2019年 6月末	増減	GMO-FH (2019年6月末)	増減
流動資産	7,105	7,258	153	5,593	427
現金預金	1,440	1,366	-74	608	212
固定資産	419	484	65	80	-0
のれん	18	16	-2	5	-0
ソフトウェア	58	64	5	15	-0
投資有価証券	76	81	5	28	-0
資産合計	7,524	7,743	218	5,674	427
負債	6,560	6,774	214	5,315	426
有利子負債	1,111	1,146	34	742	77
純資産	964	968	4	359	0
非支配株主持分	439	462	22	10	0
自己資本	524	505	-18	348	-0
利益剰余金	146	166	19	324	14
(自己資本比率)	7.0%	6.5%	-0.4pt	6.1%	-0.5pt
負債・純資産合計	7,524	7,743	218	5,674	427

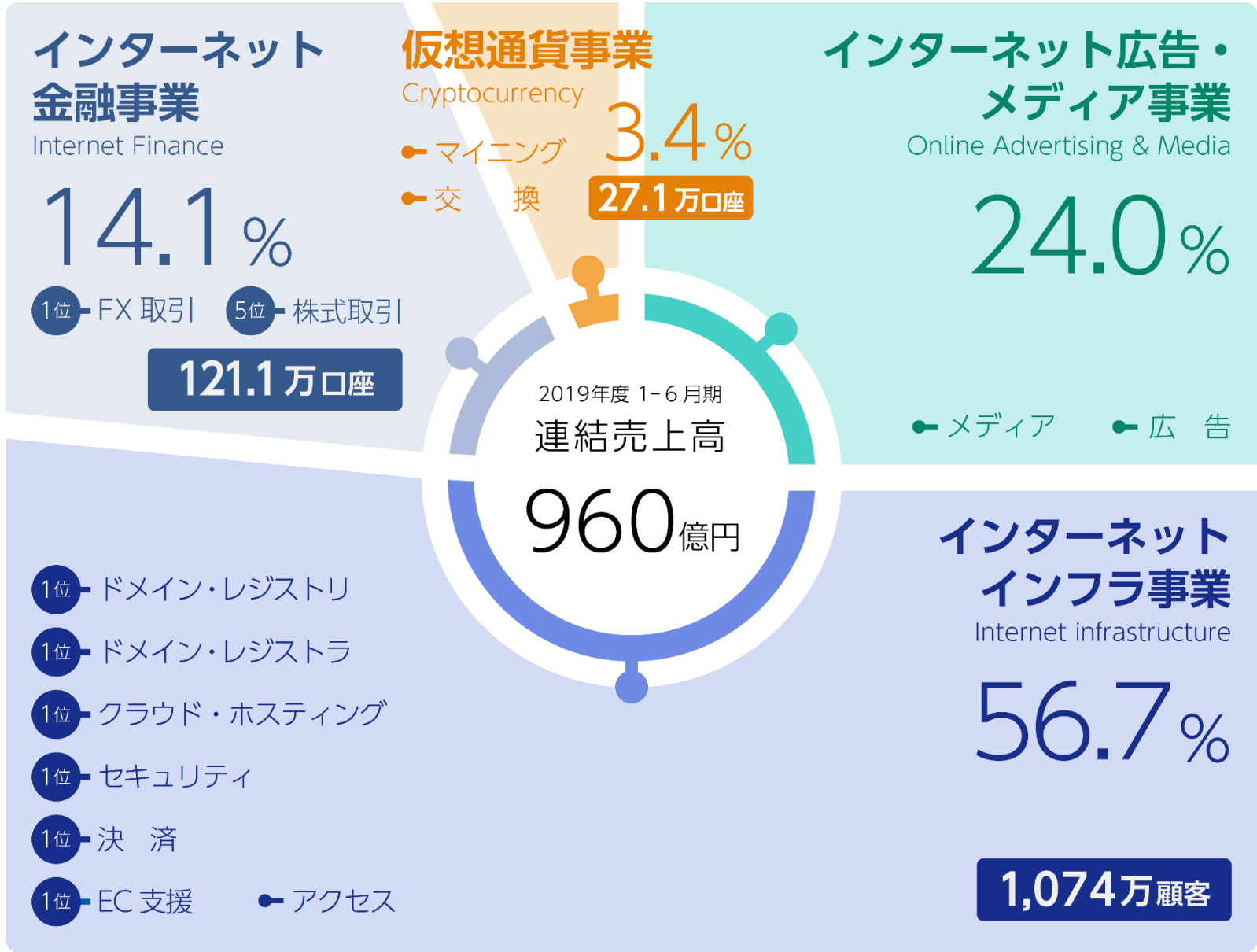
1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

グループ概況 | 上場グループ会社 時価総額・持分相当額

コード	銘柄名	市場	時価総額 ^{※1} (億円)	持分比率 ^{※2}	持分相当額 (億円)
9449	GMOインターネット	東証1部	1,927		
3769	GMOペイメントゲートウェイ	東証1部	5,780	42.4%	2,450
7177	GMOフィナンシャルHD	東証JQS	672	63.1%	424
3788	GMOクラウド	東証1部	354	51.8%	183
3633	GMOペパボ	東証JQS	150	65.0%	97
4784	GMOアドパートナーズ	東証JQS	67	56.1%	37
3695	GMOリサーチ	マザーズ	31	54.9%	17
6180	GMOメディア	マザーズ	30	65.3%	19
6026	GMO TECH	マザーズ	22	54.1%	11
グループ合計			9,035 ^{※3}		3,242

※1：時価総額は8/5時点、※2：持分比率は間接保有分を含む、6月末時点 ※3：単純合算

グループ概況 | 事業領域



岩盤収益基盤

1,222万顧客

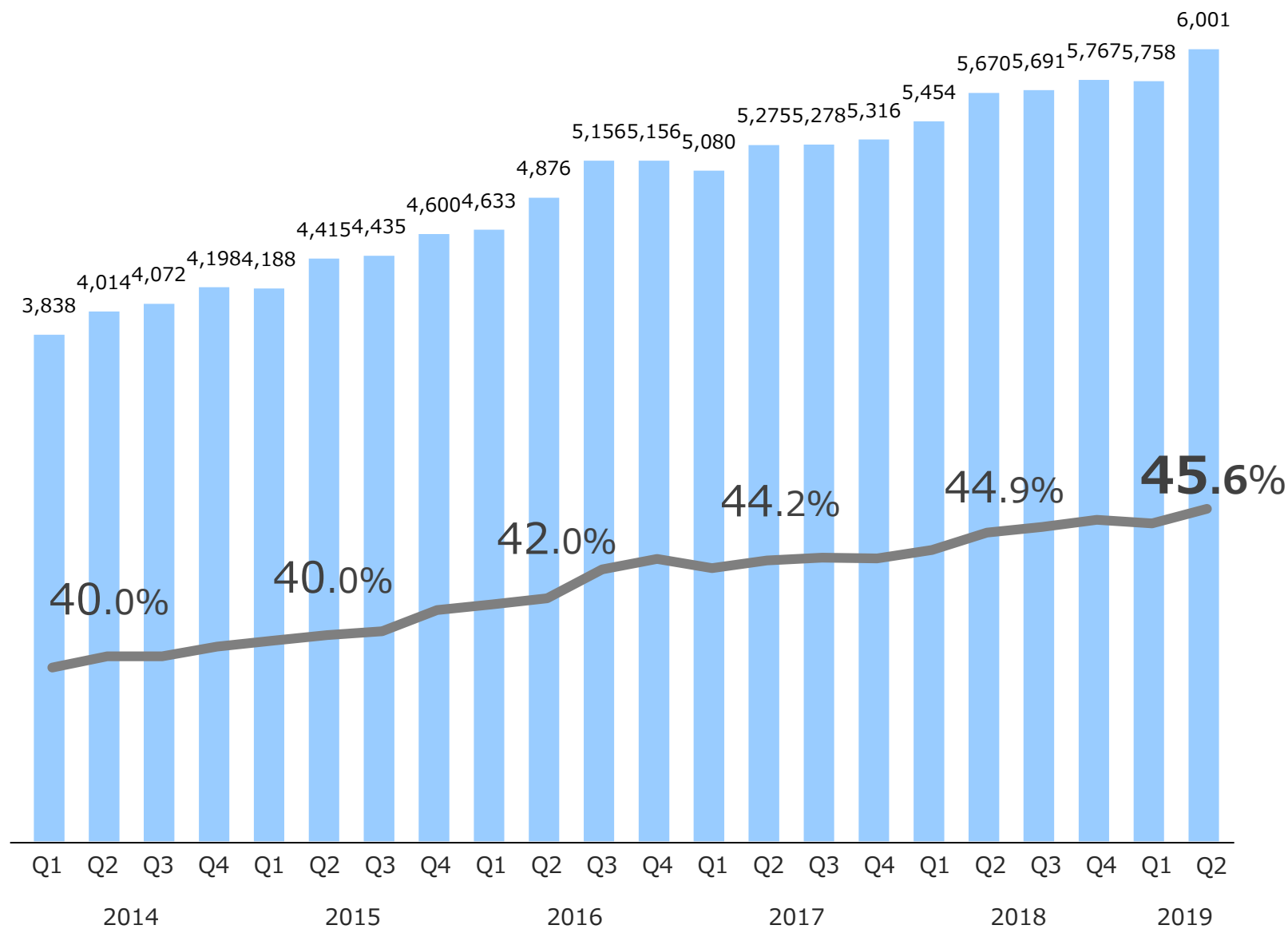
インフラ+金融

対前年

170万件増

※売上比率はセグメント間取引消去前の数値で算出 ※1,222万件はインフラ、金融、仮想通貨事業の契約数を実数で集計 ※インターネット金融事業の口座数にGMOあおぞらネット銀行の口座は含みません

グループ概況 | 強み（技術力）



エンジニア比率
50%目標

総パートナー（人）
うち、エンジニア・クリエイター比率（%）

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

ネットインフラ | 事業構成

圧倒的
No.1

ドメイン・レジストリ

GMO REGISTRY

GMO Brights Consulting

国内
シェア

※1
87.4%

圧倒的
No.1

ドメイン・レジストラ



国内
シェア

※2
87.1%

No.1

クラウド・ホスティング



国内
シェア

※3
55.7%

No.1

有料カート



有料店舗数

7.1万

No.1

SSLセキュリティ



国内
シェア

※4
50.2%

No.1

決 済

GMO PAYMENT GATEWAY

GMO EPSILON

導入店舗数

18.4万

No.1

アクセス



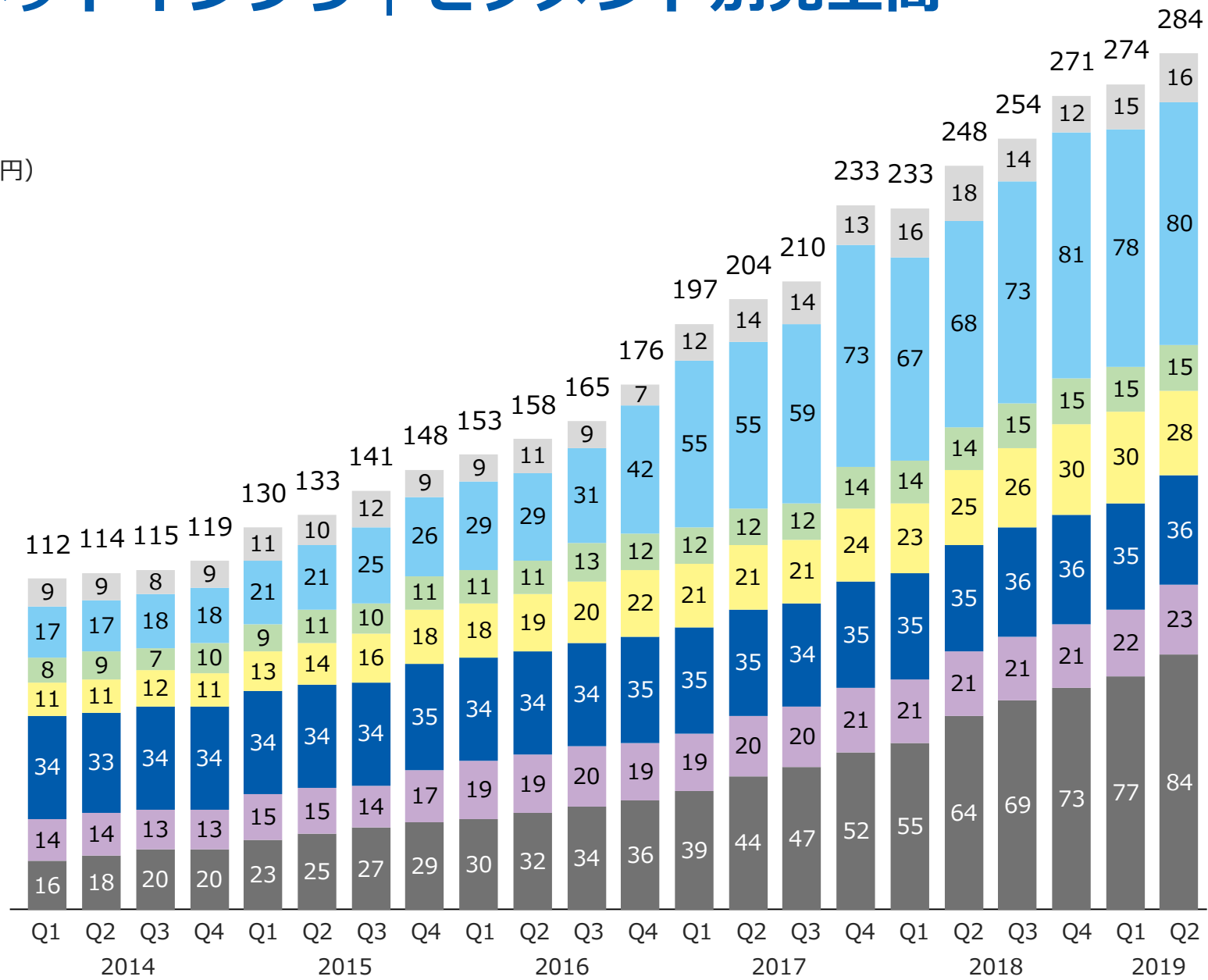
光回線18年純増シェア

※5
55.0%

※1:国内レジストリシェア当社調べ ※2:国内ドメインシェアICANN調べ ※3:Webhosting.info調べ ※4:国別コードNetcraft社調べ ※5:総務省電気通信サービスの契約数より弊社シェア算出

ネットインフラ | セグメント別売上高

(億円)



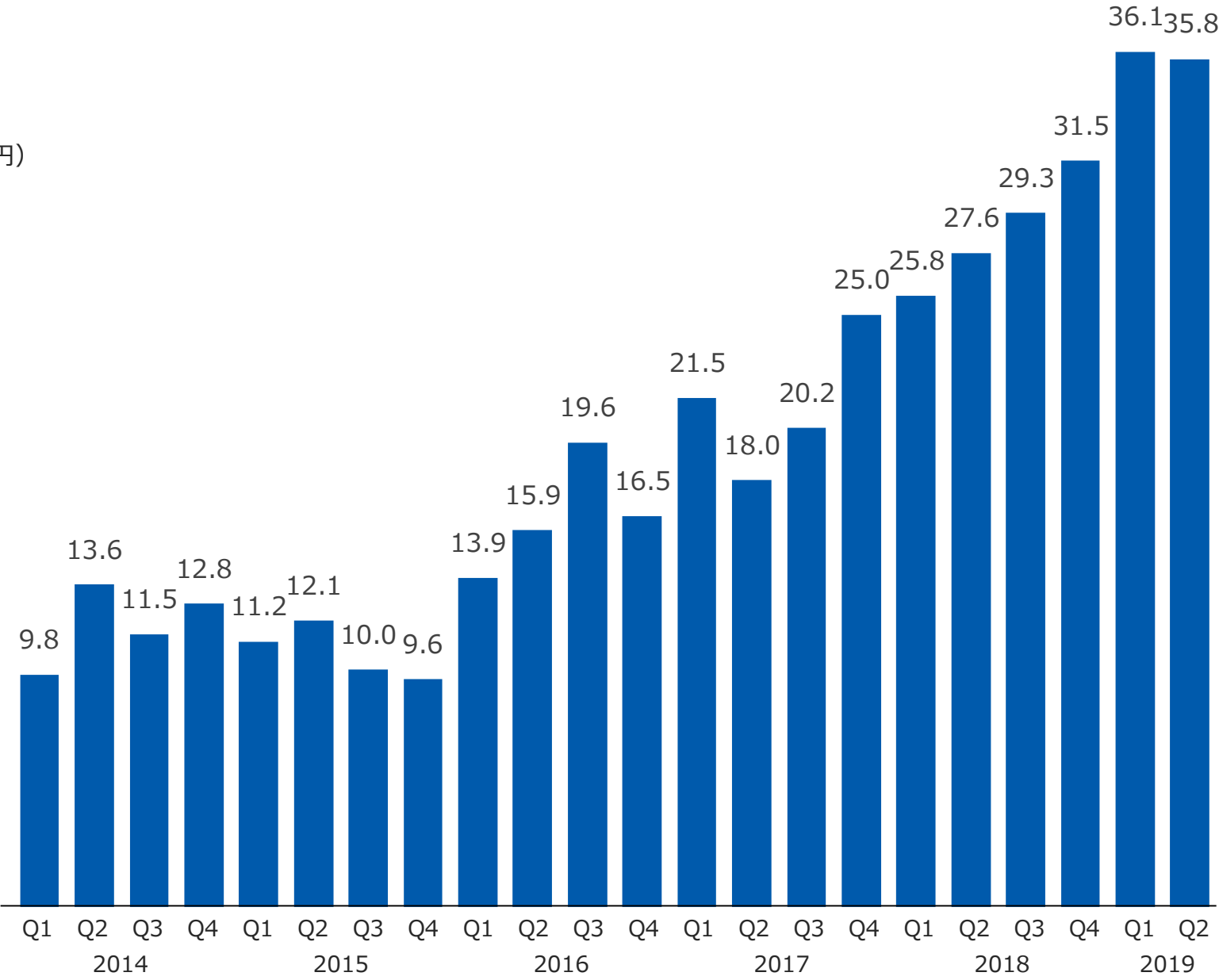
対前年
14.5%増



- その他
- 決済
- セキュリティ
- EC支援
- クラウド・ホスティング
- ドメイン
- アクセス

ネットインフラ | 営業利益

(億円)

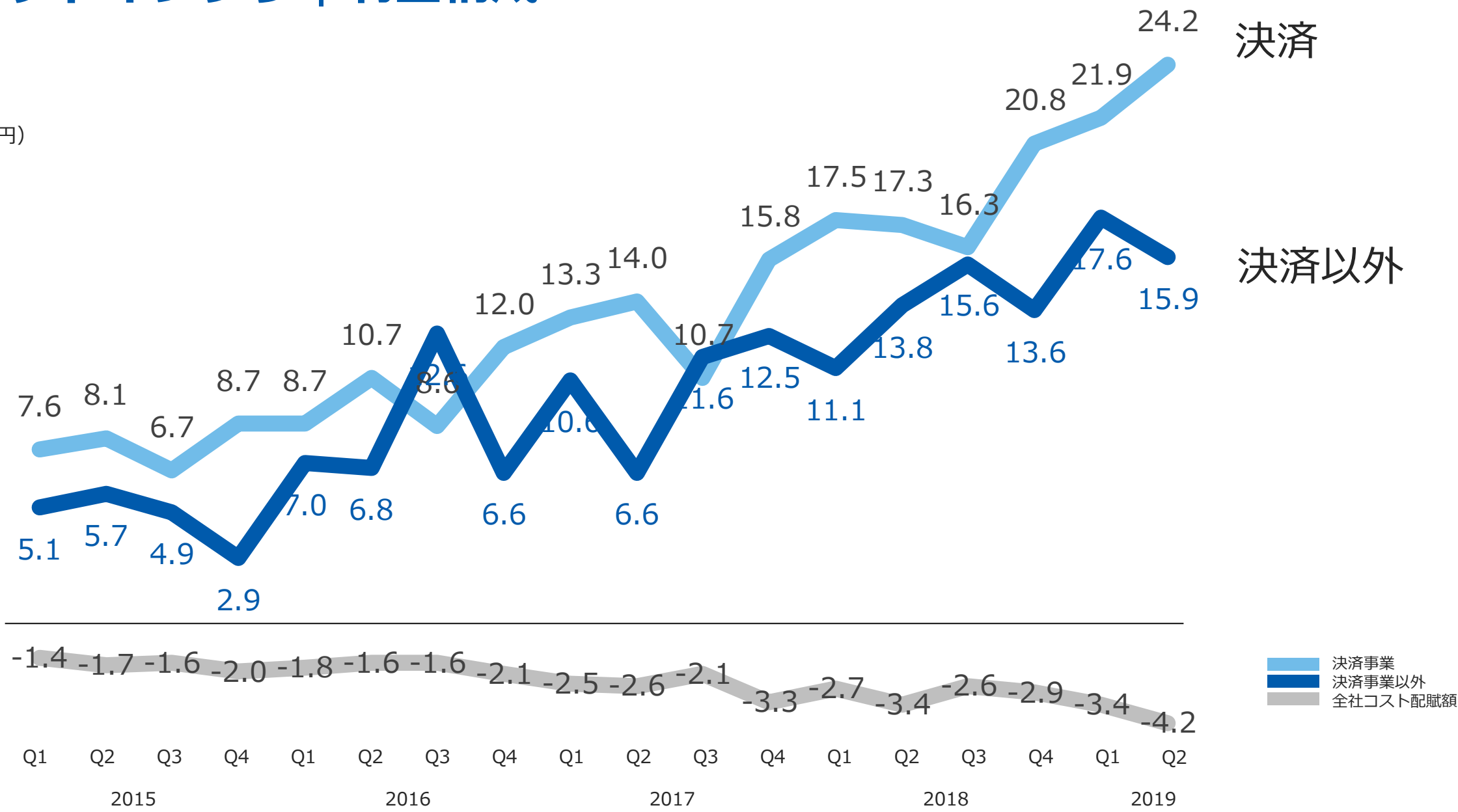


対前年
29.5%増



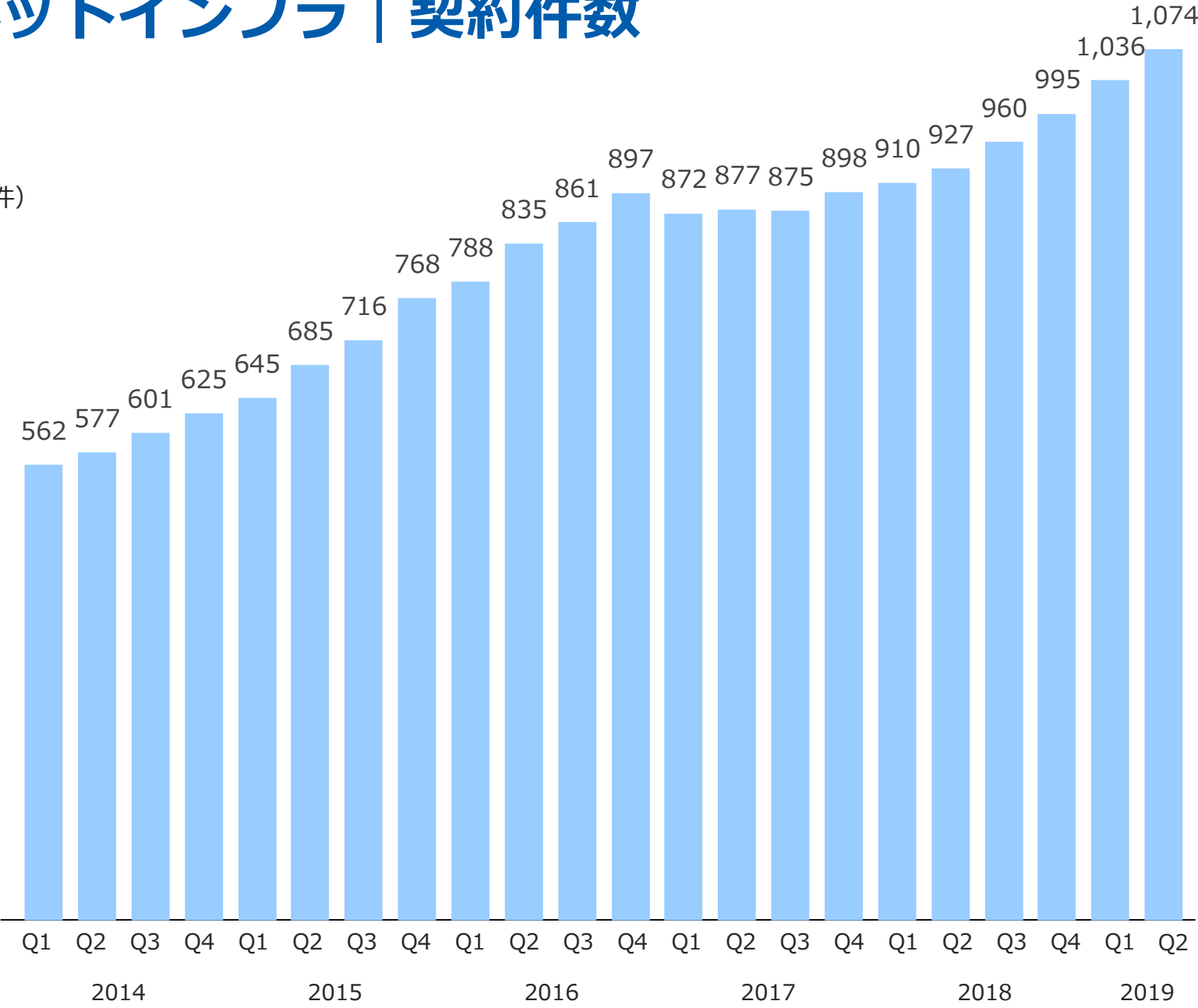
ネットインフラ | 利益構成

(億円)



ネットインフラ | 契約件数

(万件)

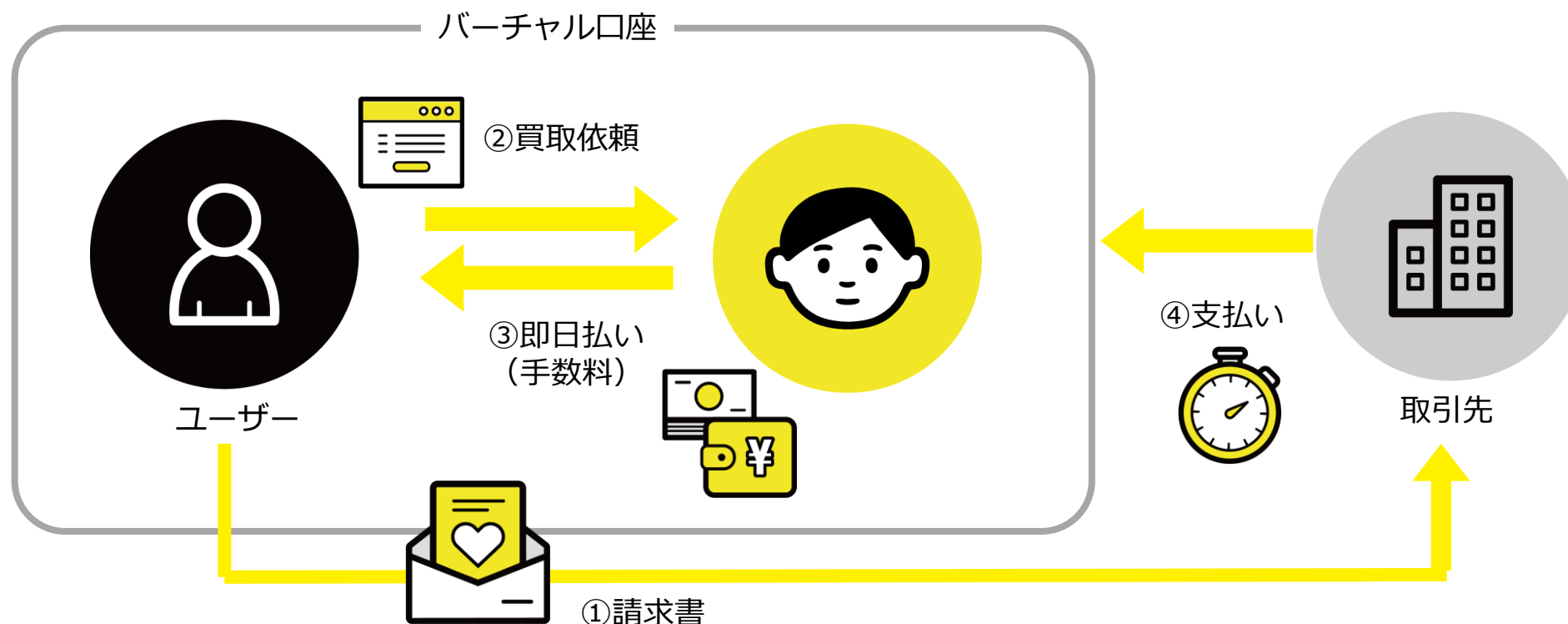


インフラ岩盤収益基盤

1,074万顧客

フリーランス向け金融支援事業

請求書（売掛債権）を買取り、ユーザーの資金繰りをお手伝い



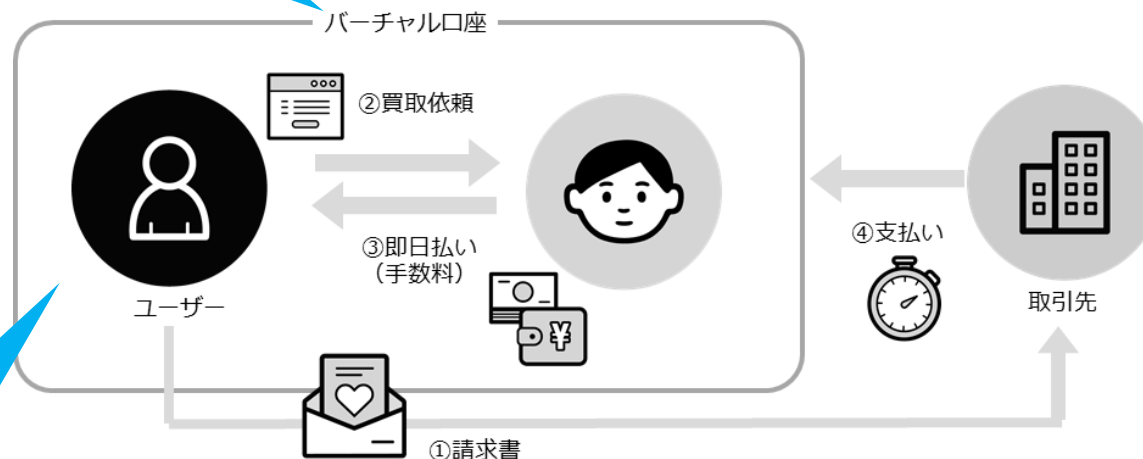
ネットインフラ | インフラ×金融「FREENANCE」



「インフラ×金融」のグループシナジーにより新しい金融サービスと価値を提供

銀行機能

GMO あおぞらネット銀行



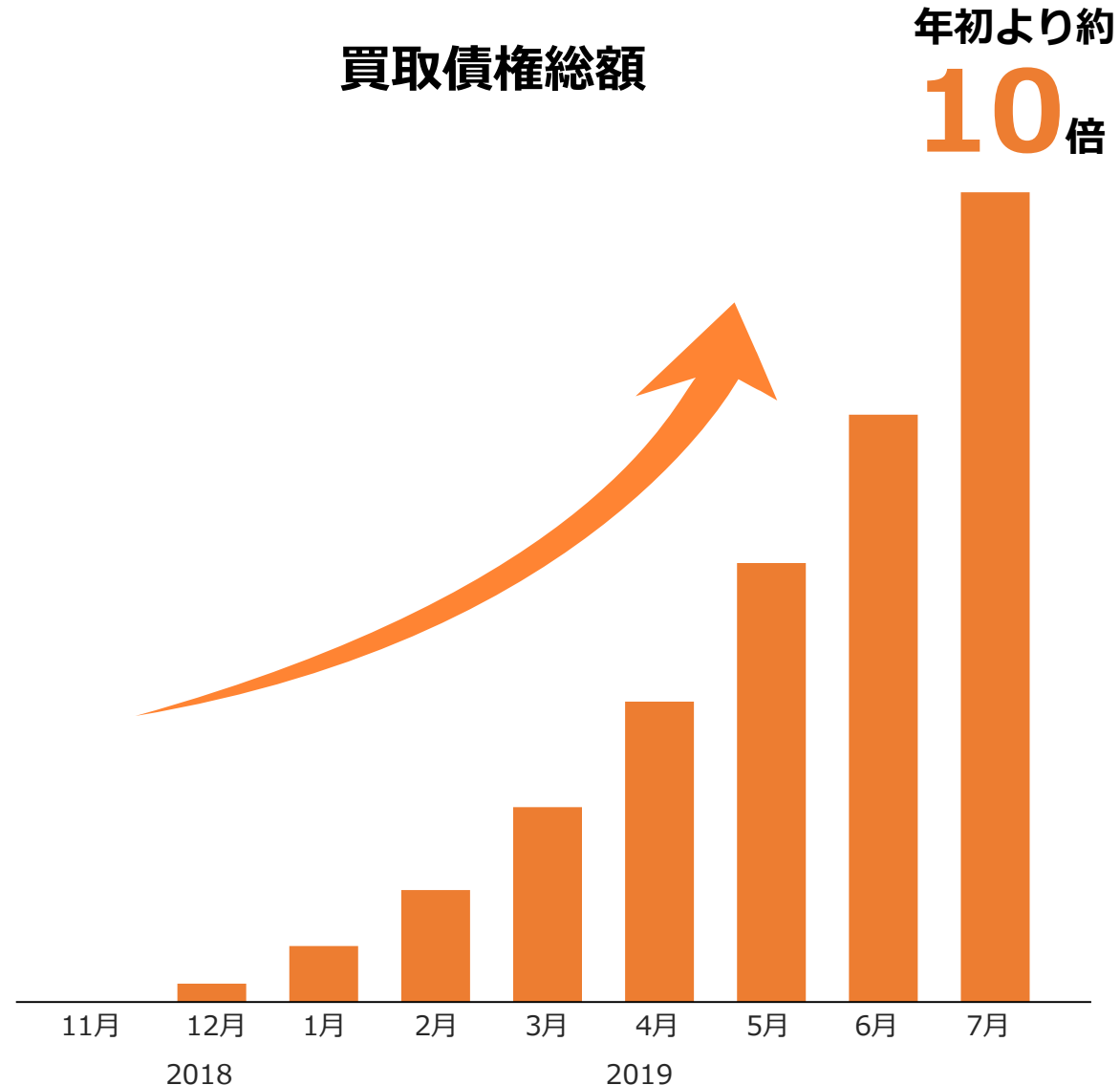
個人向けサービス (顧客基盤・接点)

GMO ペパボ

GMO クリエイターズネットワーク

与信 (ノウハウ)

GMO PAYMENT GATEWAY



会員数の伸長により
買取債権総額は
急速に拡大

※19/8/1 GMOペパボ株式会社2019年第2四半期決算説明会資料より当社にて作成

短期の見通し

No.1商材の更なる強化、各商材間のシナジー追求により
高成長を継続

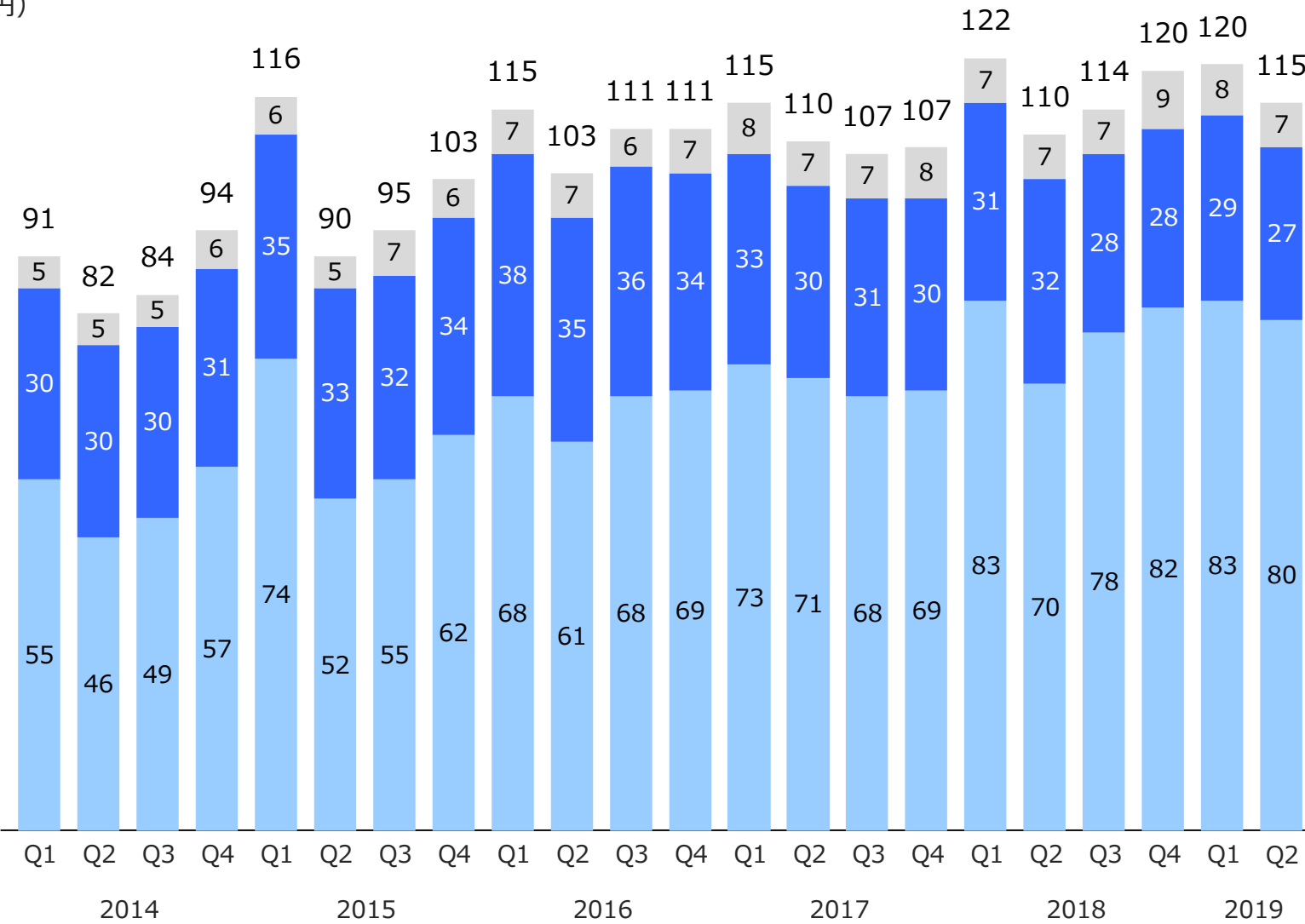
中長期戦略

インフラ岩盤収益基盤と金融の掛け算により成長加速

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

ネット広告・メディア | セグメント別売上高

(億円)



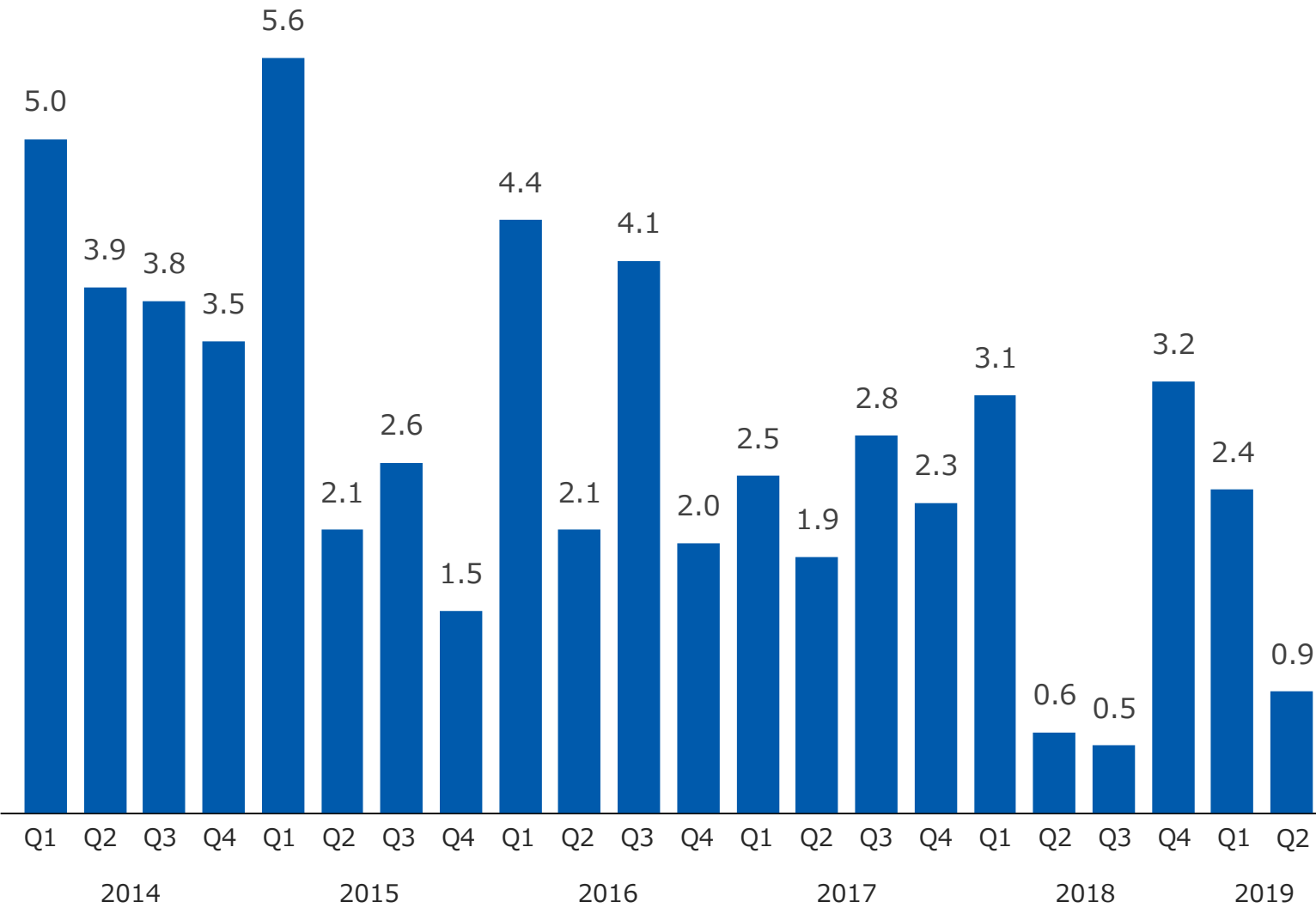
対前年
5.1%増



- インターネットリサーチ・その他
- インターネットメディア
- インターネット広告

ネット広告・メディア | 営業利益

(億円)



対前年
45.0%増
×

短期の見通し

- 広告：広告掲載基準の適正化により、自社アドテク商材は回復基調。広告代理では大手顧客の獲得進む
- メディア：自社メディアの課金強化

中長期戦略

- 自社商材、新規ストック型商材の開発を強化
- 他社に影響されない収益基盤を確立し、V字回復へ

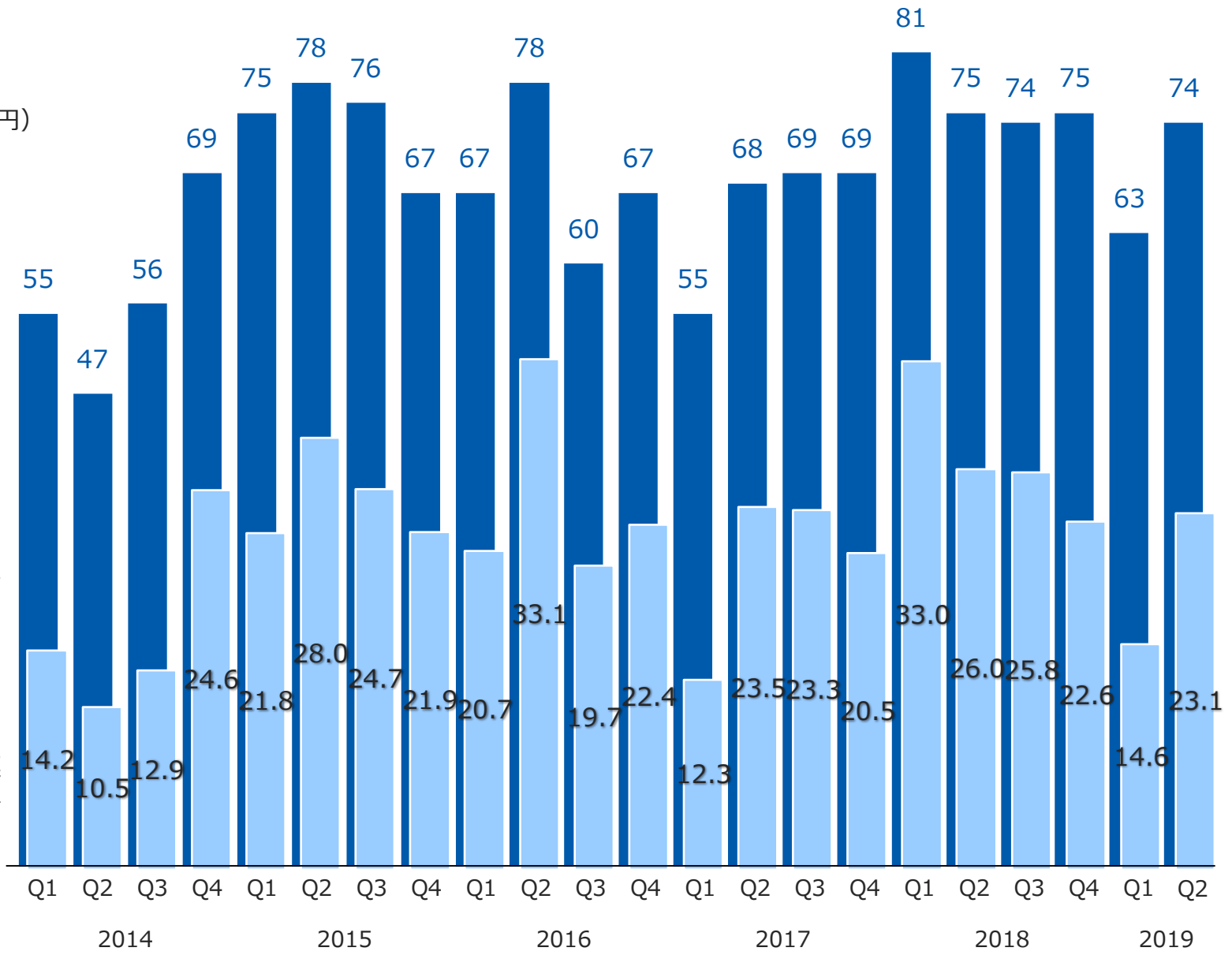
1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

ネット金融 | 四半期業績推移

(億円)

売上

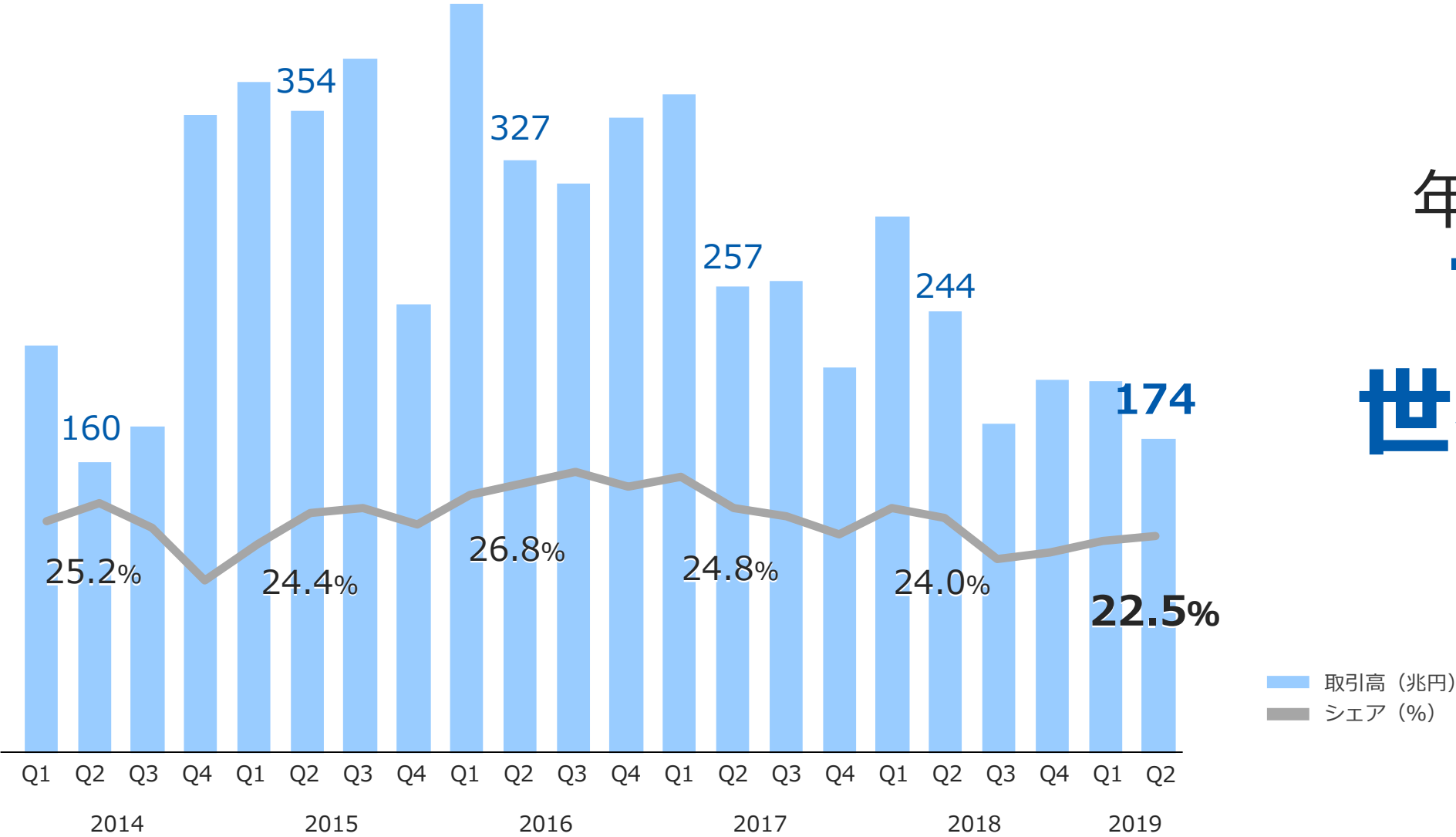
営業利益



対前年
1.1%減収
11.2%減益



年間取引高
7年連続
世界No.1



GMO-FH_2019年12月期第2四半期決算説明会資料データ及び金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成
※1 GMOクリック証券、FXプライムbyGMOの取引高合算数値 ※2 グループ・シェアは、金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」を市場全体として対象3ヶ月間の売上高の合算にて算出

短期の見通し

- FX：プライスの最適化、ポジション管理の高度化による収益率改善への取り組みを継続
- FX以外：CFD強化 次なる収益の柱へ

中長期戦略

- FX：収益性大幅改善に向けた長期プロジェクト始動。オープン市場を活用した新たなヘッジ方法を本格展開
- FX以外：商品拡大により市場への対応力高める

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

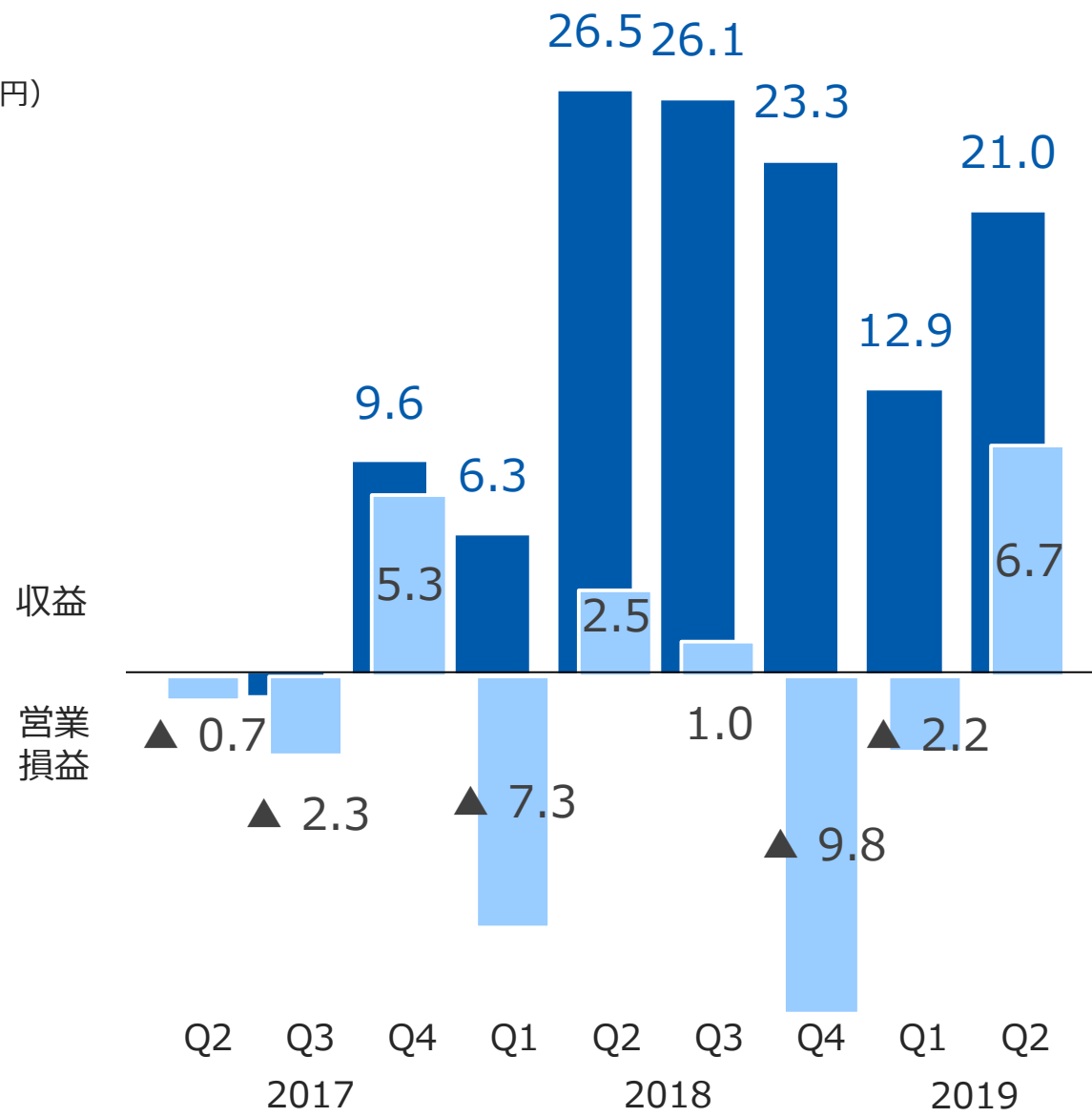
金融・決済・仮想通貨領域



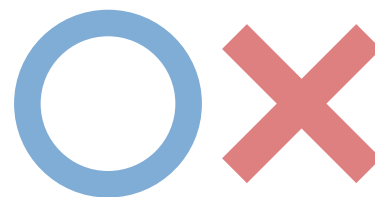
*主要株主認可を取得した場合、議決権比率は50%となる見通しです。

仮想通貨事業 | 四半期業績推移

(億円)

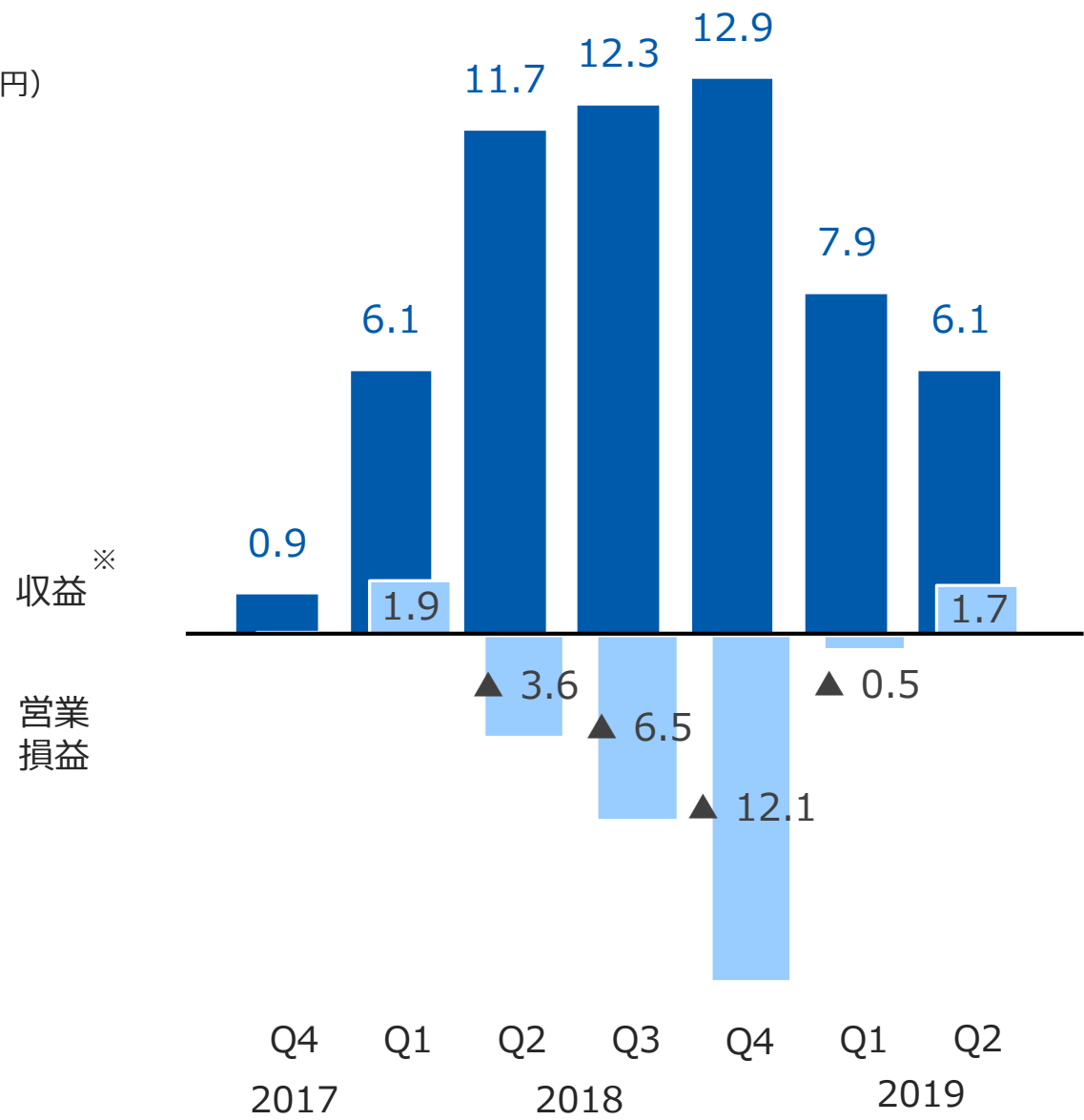


QoQ
增收黒字轉換



仮想通貨マイニング事業 | 四半期業績推移

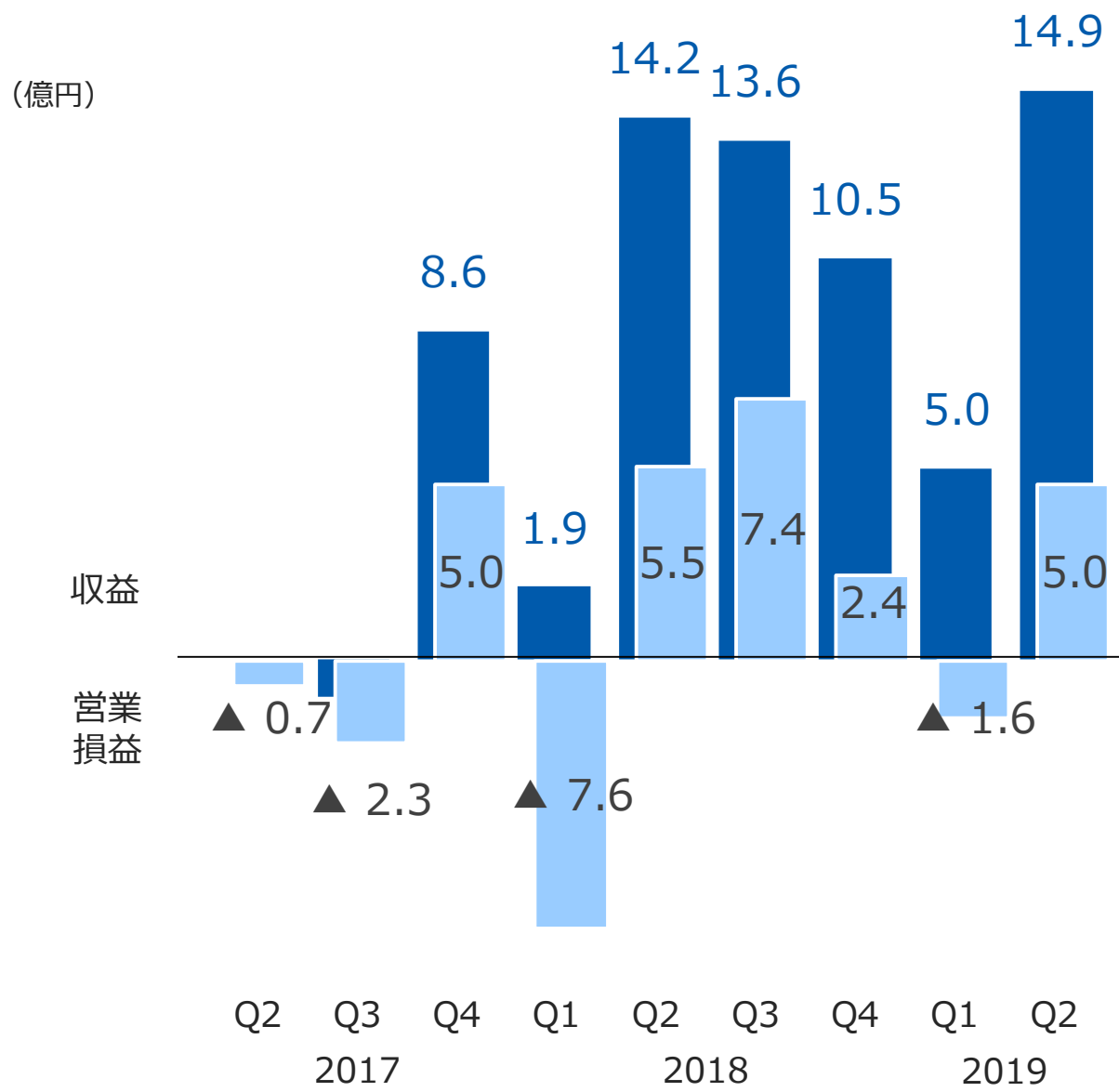
(億円)



採掘単価は上昇も
自社HR低下により採掘量は減少

QoQ 減収黒字転換

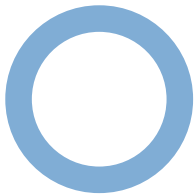
※仮想通貨評価損益を足し戻したグロスの数字
仮想通貨評価損益：18Q1▲1.6億、18Q2+0.6億、18Q3+0.1億、18Q4▲0.1億、
19Q1▲0.0億、19Q2▲0.0億



仮想通貨市場回復



QoQ 增收黒字轉換



短期の見通し

- マイニング：DCの移設計画の遅延あるも、取り組みを継続
- 交換：スプレッド縮小によるシェア拡大を目指す。レバレッジ取引倍率を引き下げ（7/31より5→4倍へ）

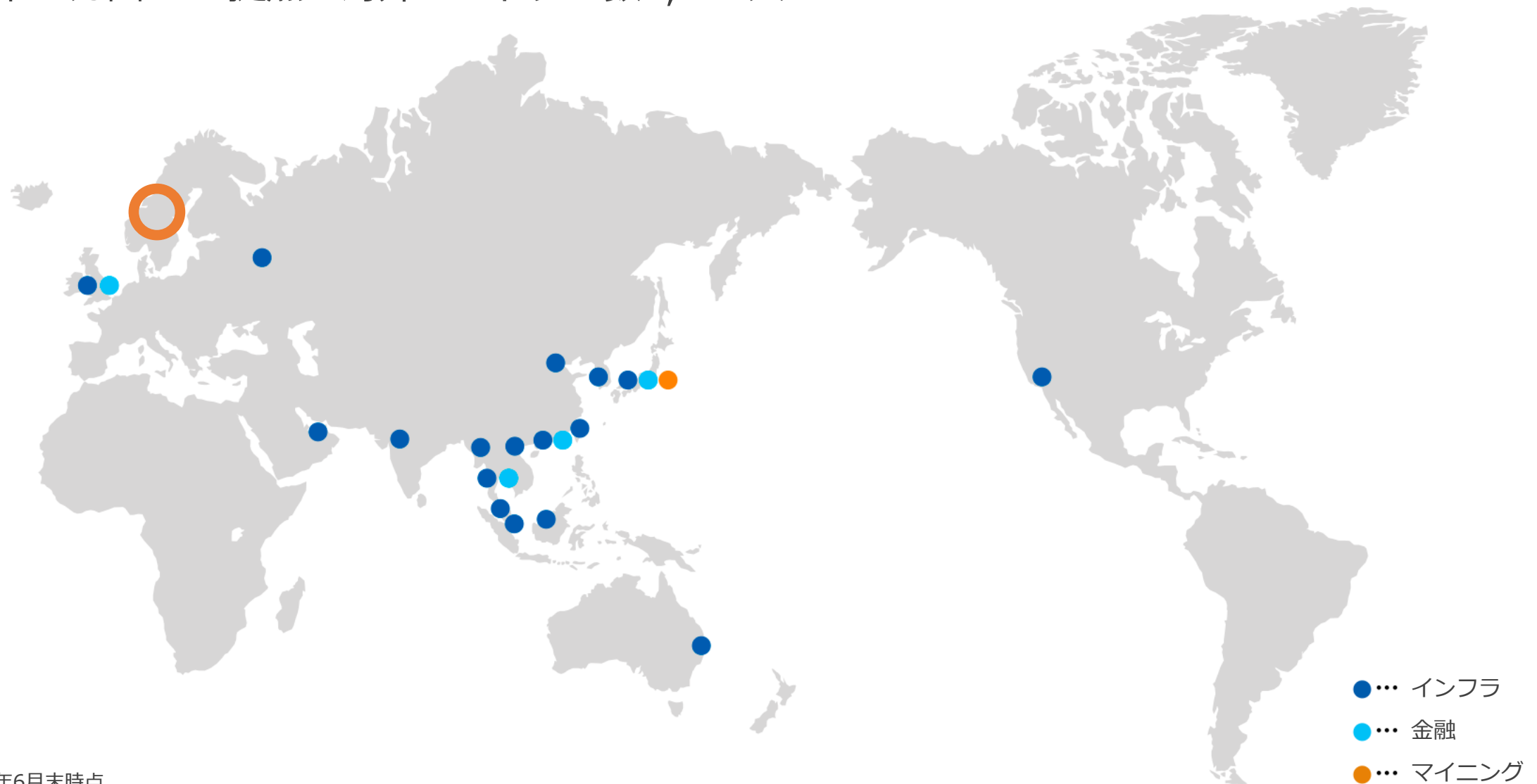
中長期戦略

- マイニング：低コスト戦略で利益貢献を目指す
- 交換：FXのノウハウを活用、国内シェア拡大へ
- 決済：日本円と連動したステーブルコインを発行予定

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

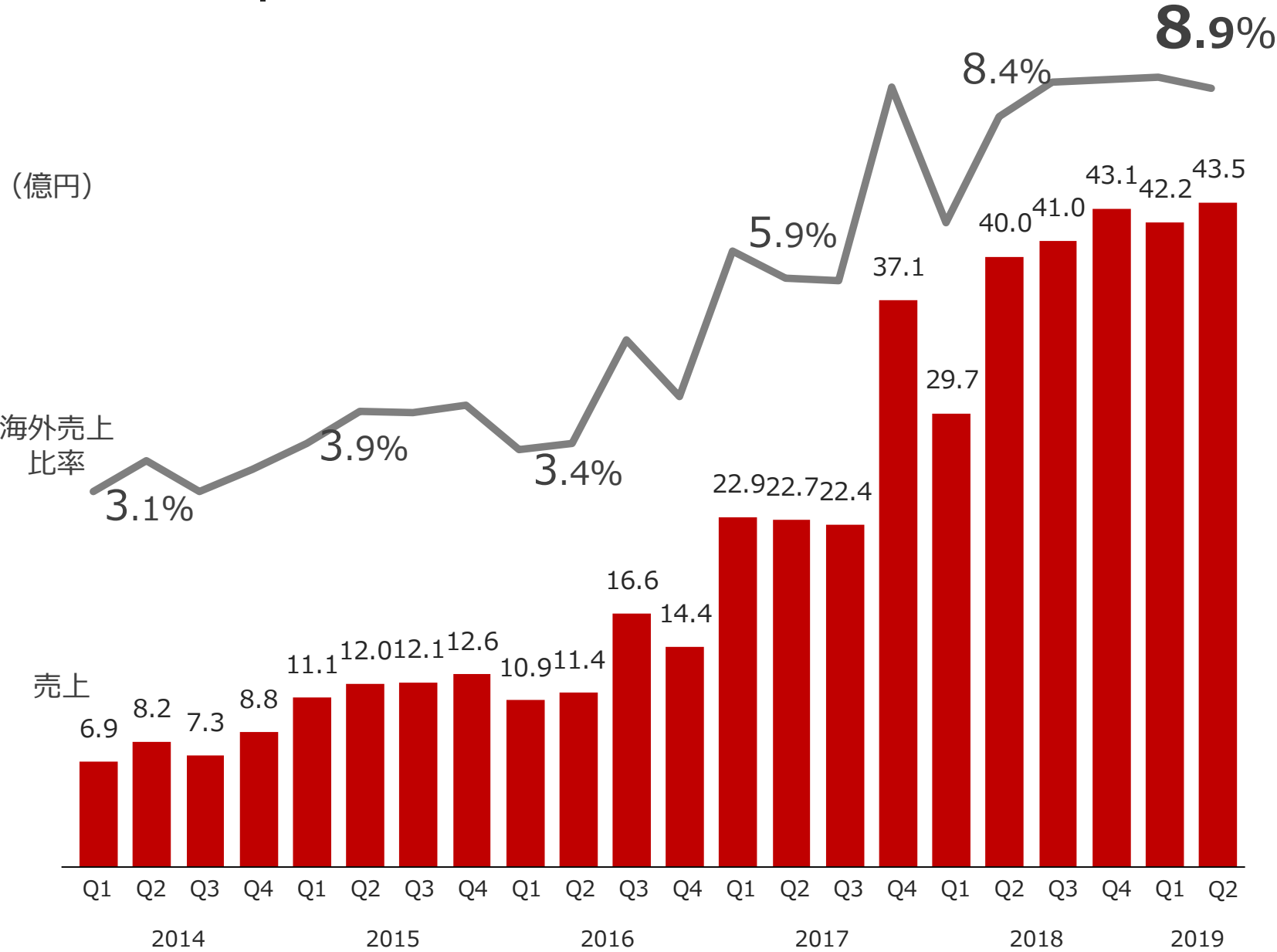
海外事業 | 拠点

世界22カ国 68拠点 海外パートナー数1,430人



※2019年6月末時点

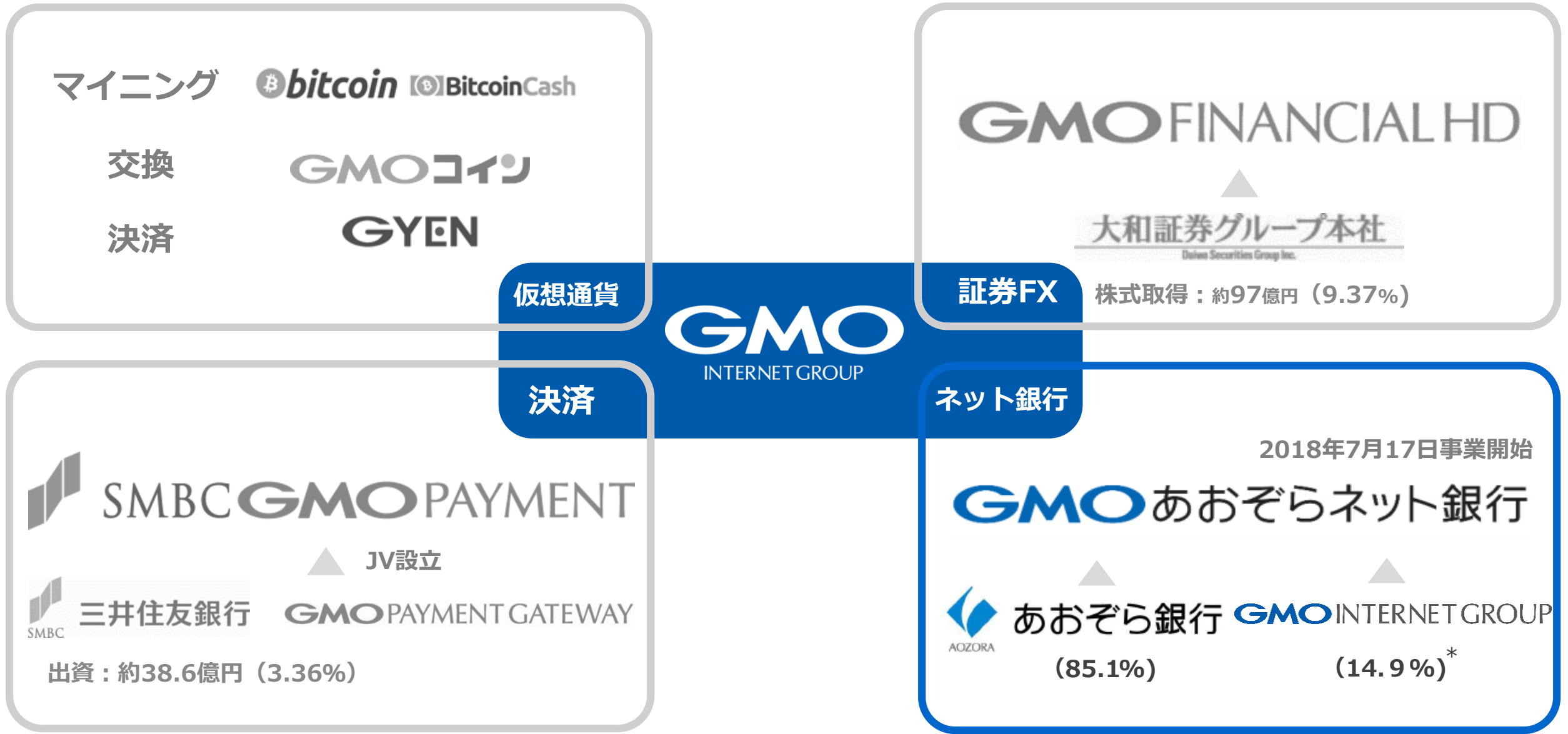
海外事業 | 売上推移



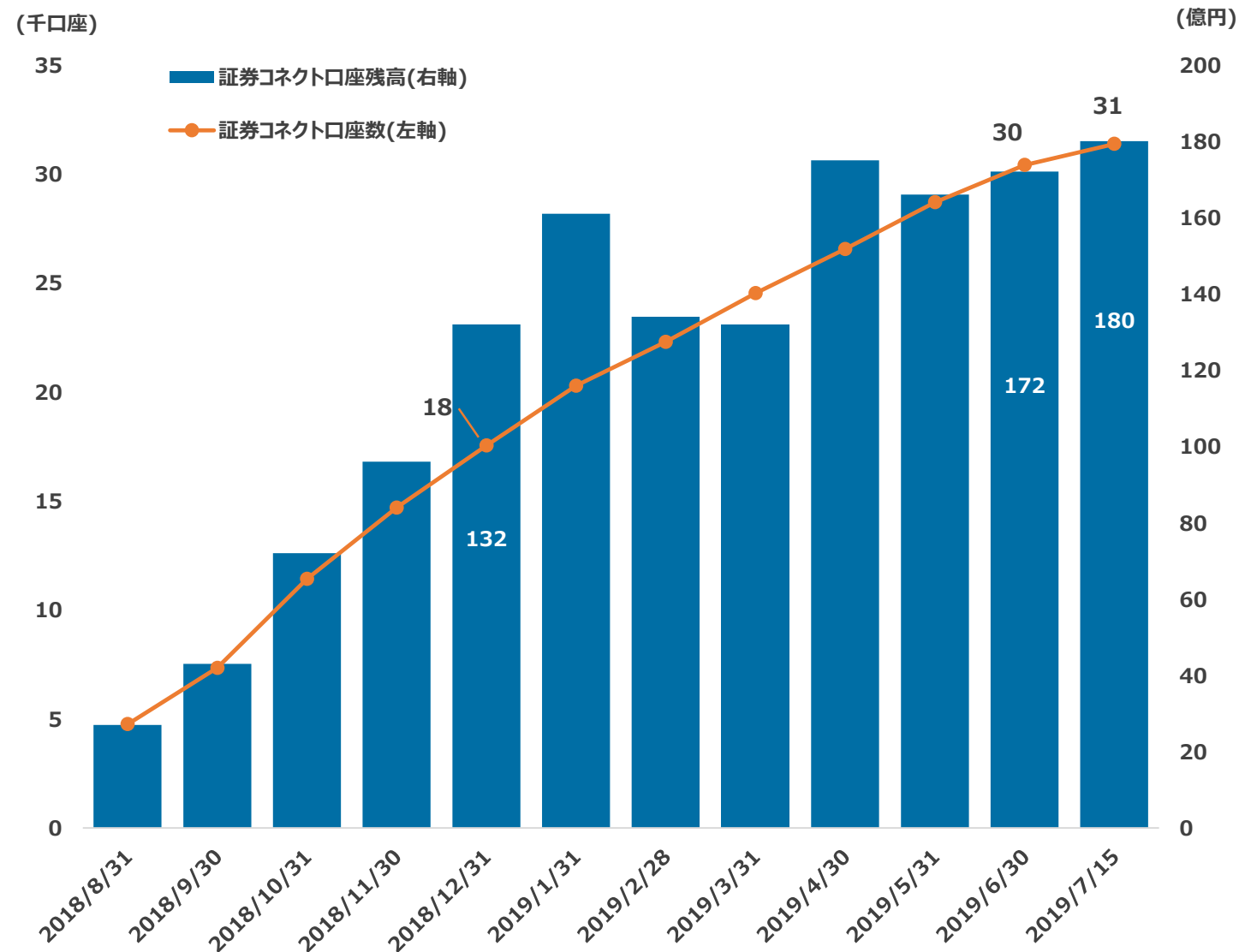
対前年
8.9%増

1. 結論と要約
2. 決算概要
3. セグメント別状況
 - ①グループ概況
 - ②インターネットインフラ事業
 - ③インターネット広告・メディア事業
 - ④インターネット金融事業
 - ⑤仮想通貨事業
4. 海外事業
5. GMOあおぞらネット銀行

金融・決済・仮想通貨領域



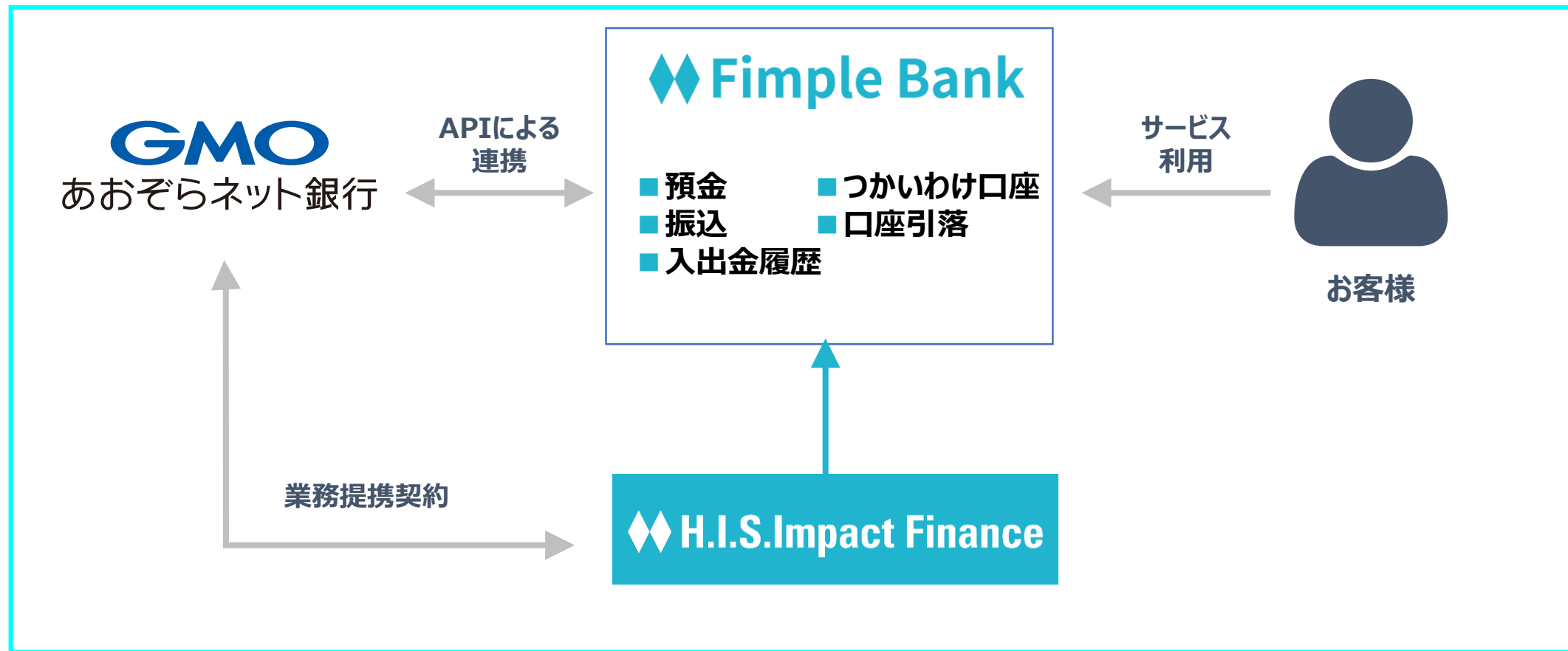
*主要株主認可を取得した場合、議決権比率は50%となる見通しです。



口座数・残高
順調に伸長

銀行API、SDK無償提供中。今後も接続企業のニーズに合わせAPIを継続開発

API活用事例 | H.I.S.グループ企業様の取り組み（将来構想）※



※19/5/14 HIS様、H.I.S. Impact Finance様及びGMOあおぞらネット銀行との共同記者発表会資料から抜粋

※上記図にあるH.I.S. Impact Finance様が描く将来の拡大構想は、必要に応じて各種許認可を取得予定。

すべての人にインターネット

GMO



2019年12月期 第3四半期決算発表は 2019年11月12日15時以降を予定しております。

本資料には、2019年8月6日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。世界経済、競合状況、為替の変動、仮想通貨の価格変動等にかかわるリスクや天変地異などの不確定要因により実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。またマーケットシェアなどの数値について一部弊社推計値が含まれております。調査機関によって異なる可能性があります。また本資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。また本資料内に記載されている業績予想などの将来の予測に関するものは、リスクや不確定要因を含みます。実際の業績は経済情勢や市場環境など、さまざまな要因により、かかる予想とは大きく異なることがあることをご承知おきください。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。